

民生福祉常任委員会記録

(所管事務調査分)

平成28年12月8日

【開催日】 平成28年12月8日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前10時～午後5時15分

【出席委員】

委員長	下瀬俊夫	副委員長	矢田松夫
委員	石田清廉	委員	小野泰
委員	三浦英統	委員	吉永美子

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	尾山信義		
----	------	--	--

【執行部出席者】

健康福祉部長	河合久雄	国保年金課長	桶谷一博
国保年金課主幹	安重賢治	国保年金課国保係長	石田由記子
国保年金課国保係主任	山根和之	国保年金課年金高齢医療係長	三隅貴恵
国保年金課特定健診係長	岡崎さゆり	高齢福祉課長	吉岡忠司
高齢福祉課主幹	塚本晃子	高齢福祉課技監兼地域包括支援センター所長	尾山貴子
高齢福祉課主査兼介護保険係長	河上雄治	高齢福祉課介護係主任主事	藤永一徳
高齢福祉課高齢福祉係長	古谷雅俊	地域包括支援センター主任	荒川智美
病院事業管理者	河合伸也	病院局事務部長	堀川順生
病院局総務課長	岡原一恵	病院局総務課主幹	和氣康隆
病院局医事課長	山根和美	病院局総務課主査兼経理係長	藤本義忠
病院局医事課医事係長	佐々木秀樹	病院局総務課経理係主事	岩本隆嗣
こども福祉課長	川崎浩美	こども福祉課課長補佐	大濱史久
こども福祉課主査兼子育て支援係長	別府隆行	こども福祉課保育係長	山田寿美子
こども福祉課保育係主任	野田記代	市民生活部長	佐久間昌彦
環境課長	井上正満	環境課課長補佐	木村清次郎

【事務局出席者】

事務局長	中村聡	事務局次長	清水保
庶務調査係長	島津克則	庶務調査係主事	中山由希子

【付議事項】

- 1 議案第103号 平成28年度山陽小野田市国民健康保険特別会計補正予算（第2回）について（国保）
- 2 議案第105号 平成28年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）について（国保）
- 3 議案第122号 山陽小野田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について（国保）
- 4 議案第123号 山陽小野田市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について（国保）
- 5 議案第119号 山陽小野田市老人福祉作業所条例の一部を改正する条例の制定について（高齢）
- 6 議案第120号 山陽小野田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について（高齢）
- 7 議案第131号 損害賠償の額の決定について（病院）
- 8 議案第110号 平成28年度山陽小野田市病院事業会計補正予算（第1回）について（病院）
- 9 議案第104号 平成28年度山陽小野田市介護保険特別会計補正予算（第2回）について（高齢）
- 10 議案第121号 山陽小野田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について（高齢）
- 11 長生園についての報告（高齢）
- 12 所管事務調査 保育所について（こども）
- 13 所管事務調査 火葬場建設について（環境）

14 陳情要望について

15 閉会中の継続調査事項について

午前10時 開会

- 1 議案第103号 平成28年度山陽小野田市国民健康保険特別会計補正予算（第2回）について（記録については議案分に記載）

午前10時50分 休憩

午前11時 再開

- 2 議案第105号 平成28年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）について（記録については議案分に記載）

- 3 議案第122号 山陽小野田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について（記録については議案分に記載）

- 4 議案第123号 山陽小野田市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について（記録については議案分に記載）

午前11時38分 休憩

午前11時45分 再開

- 5 議案第119号 山陽小野田市老人福祉作業所条例の一部を改正する条例の制定について（記録については議案分に記載）

- 6 議案第120号 山陽小野田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について（記録については議案分に記載）

午後0時5分 休憩

午後1時 再開

- 7 議案第131号 損害賠償の額の決定について
(記録については議案分に記載)

午後1時42分 休憩

午後1時47分 再開

- 8 議案第110号 平成28年度山陽小野田市病院事業会計補正予算(第1回)について(記録については議案分に記載)

午後2時21分 休憩

午後2時30分 再開

- 9 議案第104号 平成28年度山陽小野田市介護保険特別会計補正予算(第2回)について(記録については議案分に記載)

- 10 議案第121号 山陽小野田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について(記録については議案分に記載)

- 11 長生園についての報告

【議事の概要】

委譲先候補事業所決定

法人名 社会福祉法人 さわやか会

法人所在地 下関市長府黒門南町6番55号

平成29年4月1日から委譲先法人による運営開始予定

【主な質疑】

矢田松夫副委員長 雇用契約の継続ということで長生園職員と契約を交わしているのか。

吉岡高齢福祉課長 勤務を希望する場合、継続雇用することが公募の条件となっている。現在、引き続き勤務を希望するかどうかのアンケートをとっている。最終的にはさわやか会と職員との雇用契約になるのではないか。

下瀬俊夫委員長 アンケートは終了したのか。

吉岡高齢福祉課長 二、三名提出していない。提出期限は12月中旬である。

三浦英統委員 施設も老朽化している。今後、市外に新施設を建設し、出て行

くこともあるのか。

吉岡高齢福祉課長 施設を新設する場合も市内でお願いしている。

下瀬俊夫委員長 プロポーザル審査委員6名全員市役所職員か。

吉岡高齢福祉課長 宇部市、山陽小野田市の健康福祉部長、宇部健康福祉センター次長、長生園園長、長生園の第三者委員である民生委員2名である。

午後3時6分 休憩

午後3時15分 再開

12 所管事務調査 保育所について

【議事の概要】

公立保育所再編基本計画（案）について（詳細は別添資料参照）

待機児童数・・・平成27年度、28年度とも年度当初は待機児童なし
平成27年度は9月時点で発生32人、3月末52人
平成28年度は10月時点で発生9人

日の出保育園・・・小野田駅北側に建替え、定員増

下津保育園、出合保育園、津布田保育園・・・厚狭駅南部に新築、統合
厚陽保育園・・・津布田保育園の一部を取り込み、継続

平成33年度から平成34年度を目標に再編整備の取組を進める

（公立保育所再編の方針）

現在の状況			再編案	
名称	定員	入所児童数	候補地	定員
日の出保育園	120人	139人	小野田駅北側 市有地周辺	170人
下津保育園	60人	63人	厚狭駅南部地区	140人
出合保育園	120人	69人	厚陽地区	60人
津布田保育園	45人	28人		
厚陽保育園	60人	49人		
合計	405人	348人		370人

児童クラブ、児童館の事業内容及び空き教室を利用する場合の要件等及び児童クラブの現状について（詳細は別添資料参照）

- ・須恵、高泊、高千帆、厚狭の児童クラブについて、施設のスペースが不足しており、高学年の受入れ不可や児童館スペースの占用などの問題が生じている
- ・教育委員会の調査の結果、上記4小学校に常時使える空き教室はない。高

千帆中学校には2教室あるが、これからの取組課題である

【主な質疑】

吉永美子委員 日の出保育園は新設する子育て総合支援センターの近くにできるのか。

川崎こども福祉課長 周辺を候補地として考えている。

吉永美子委員 子育て総合支援センターに隣接する3,000㎡の市有地はセンターの駐車場と考えてよいか。

川崎こども福祉課長 駐車場も必要と考えており、それと合わせて関係課と協議し方針を検討している。決定したら報告したい。

矢田松夫副委員長 子育て総合支援センターに隣接する市有地に保育園を建設した場合、センターの駐車場や外遊びのスペースは確保できるのか。確保できない場合、新たな用地の取得も考えているのか。

川崎こども福祉課長 今回は再編の方針を定めたもので、具体的な場所の決定はしていないが、子育て総合支援センターにも保育所にも有効活用できるように土地の取得も含めて検討中である。

矢田松夫副委員長 厚狭駅南部地区の場所は決まっているのか。

川崎こども福祉課長 厚狭駅南部地区まちづくり構想で大体の位置は決まっている。

矢田松夫副委員長 私立保育園の経営者と再編計画について話はしているか。

川崎こども福祉課長 各園の園長で構成する保育協会に先週、説明した。

矢田松夫副委員長 何か意見は出たのか。

川崎こども福祉課長 公立保育所が定員を増やすことによって、私立保育園の経営を圧迫するのではないかという意見が出た。市の人口ビジョンに沿って入所児童が増える見込みで計画しているが、思ったより伸びない場合や私立保育園の定員増があった場合、公立の入所受入れを調整すると回答した。

小野泰委員 再編について保護者や地域住民に説明しているのか。

川崎こども福祉課長 1月から説明会を行う予定である。

小野泰委員 地域から保育所がなくなるところもあるので、しっかり説明できる資料、理論が必要である。

川崎こども福祉課長 行財政改革の一環として保育所の老朽化、定員の不均衡を是正するための再編という説明を十分し、理解をいただきたい。跡地利用についても検討する。

矢田松夫副委員長 跡地利用は再編と同時進行で考える必要があるのではないのか。

川崎こども福祉課長 今後、早急に方策を考えていきたい。

下瀬俊夫委員長 この案はパブリックコメントに掛けるのか。

川崎こども福祉課長 パブリックコメントは実施しない。この計画は行財政改革の一環で公用施設の再編という位置付けであり、対象が保護者などに限定されているので市が決定する。説明会は実施する。

下瀬俊夫委員長 地域の人にとっては保育所の統廃合は重要な問題であり、合意が要るのではないか。計画段階で住民の意見を聞くという考え方は重要である。

川崎こども福祉課長 市の子育てに関する施策を検討する子ども子育て協議会から意見等をいただいている。

下瀬俊夫委員長 各園の入所児童のうち、地元の子どもは何人いるのか。

川崎こども福祉課長 きちんとした資料は手元にないが、津布田保育所については地元が少なく、ゼロ歳児もゼロ人である。

下瀬俊夫委員長 資料自体はあるのか。

川崎こども福祉課長 データを抽出すればある。

下瀬俊夫委員長 できれば資料を出してもらいたい。

矢田松夫副委員長 保育協会には計画案を出したのか。

川崎こども福祉課長 資料を渡し、意見をもらい、修正している。

矢田松夫副委員長 マスコミへの発表はいつか。

川崎こども福祉課長 年内に決定し、年明けから説明会を行う予定ではあるが、いつの時点でマスコミに発表するか、現時点では考えていない。

下瀬俊夫委員長 定員170人を予定している日の出保育園は、どの程度の広さが必要なのか。

川崎こども福祉課長 事務レベルの配置図を書き、大体の延べ床面積を出しているが、資料を準備していない。

下瀬俊夫委員長 3,000㎡以下か。

川崎こども福祉課長 延べ床面積は千幾らかだと思う。

下瀬俊夫委員長 遊び場等含めると、どの程度の土地面積がいるのか。

川崎こども福祉課長 平屋建てと2階建てで違うが、平屋の場合4,000㎡は必要だろうと思う。

下瀬俊夫委員長 小野田駅北側の市有地だけでは足りないということか。

川崎こども福祉課長 具体的な構想が固まっていないので、はっきりしたことは言えないが、小野田駅北側の市有地は二筆あり、全部含めるとかなりの広さはある。

下瀬俊夫委員長 日の出保育園の定員を増やすと小野田地区の待機児童の問題は解消するのか。

川崎こども福祉課長 昨年度より今年度の待機児童が少ないのは小規模保育事業所が2か所整備されたのも要因。現時点での待機児童の状況と、将来人口推計を考えれば、この定員で受入れは可能であろうと想定している。

想定外のことがあれば、その都度、受入れを調整したい。

下瀬俊夫委員長 須恵、高泊、高千帆、有帆の児童クラブの待機児童対策として1から2教室必要だということだが、児童館も児童クラブとしてそのまま使うのか。

川崎こども福祉課長 空き教室は待機児童対策と児童館スペースを確保するために必要で、児童館の児童クラブスペースについては使用する。

矢田松夫副委員長 厚狭は時間を区切って受け入れていると聞いたが本当か。

川崎こども福祉課長 そのようなことはしていない。

下瀬俊夫委員長 平成29年度以降の課題はクリアできるのか。

川崎こども福祉課長 須恵は29年度から空き教室を利用し、高学年の受入れも可能になる。本山、赤崎、小野田、有帆は施設の使用方法の変更などで対応する。

下瀬俊夫委員長 高泊、高千帆、厚狭については来年度以降も高学年の受入れは未定なのか。

川崎こども福祉課長 そのとおりである。

午後4時4分 休憩

午後4時13分 再開

13 所管事務調査 火葬場建設について

【議事の概要】

新火葬場建設の現在の状況について

- ・新火葬場基本設計の概要（詳細は別添資料参照）
- ・事業スケジュール

実施設計、造成工事・・・・・・・・・・現在施工中

新火葬場建築工事・・・・・・・・・・平成29～30年度

火葬炉設備工事・・・・・・・・・・平成30年度

第1期外構工事・・・・・・・・・・平成30～31年度

新火葬場供用開始・・・・・・・・・・平成31年度中

旧火葬場解体・第2期外構工事・・・・平成31年度

- ・木材使用について

待合個室の扉、腰板、収納スペース、待合ホールの床などに使用する

- ・車寄せについて

明り取りを設ける

- ・エントランスホールの壁面装飾について

設計業者から2案の提案があり、ガラスを使用し夕陽をイメージした案

が良いと考えているが、提案のままでは分かりにくいいため、新たな提案を求めたい

【主な質疑】

吉永美子委員 ガラスを多く使用し、明るいイメージになってよいと思う。ガラスとガラスの間の支柱の幅と間隔はどうなっているか。

井上環境課長 1メートル30センチ間隔で幅6センチ程度の枠が入る。

吉永美子委員 売店を置くスペースはあるか。

井上環境課長 スペースはとっていない。

吉永美子委員 売店のニーズ調査を行っているか。

木村環境課課長補佐 売店を設置する検討はしたが、面積や経営の問題があり断念した。自動販売機は建物の両サイドに設置する。

矢田松夫副委員長 火葬場北側の道は遊歩道か。また、駐車場から東墓地公園へ続く道に出られるのか。

木村環境課課長補佐 北側の道は赤字道である。また、駐車場から現在使用している道へ接道するよう整備するが、常時通り抜け可能にするか、施錠するかは検討していない。

吉永美子委員 照明は間接照明か。

木村環境課課長補佐 待合室以外、基本的に間接照明である。

石田清廉委員 太陽光等有効活用する予定はあるか。噴水や池など水が見えるものを造る予定はあるか。

木村環境課課長補佐 太陽光パネルは設置する予定である。外を感じる事ができる坪庭、光庭を造る予定はあるが、水を感じるようなものを造る予定はない。

下瀬俊夫委員長 陸屋根は雨漏りの原因になるのではないか。また、前面がガラス張りであっても、ひさしや車寄せの屋根でエントランスホールが薄暗くはならないか。

木村環境課課長補佐 雨漏り対策は陸屋根の施工によって十分対処できる。また、ひさしは大きい車寄せの光取りと両サイドが長いので、しっかりと光は入るとのことである。

井上環境課長 ガラスの高さが3メートル50センチあるので、明るいのではないかと考えている。

矢田松夫副委員長 駐車場の台数が55台だったが42台に減った理由は何か。また、今後、事業費が増えることはあるか。予算内に収まるのか。

佐久間市民生活部長 越える可能性もあるが、総額は16億円前後ではないかと思っている。

矢田松夫副委員長 最初は総事業費15億円でスタートしたが、今は16億円になっており、更にこれを越える可能性があるということか。

佐久間市民生活部長 建物はしっかりしたものを建てたい。いろいろな事情があるが、予算との調整がとれるよう努力したい。

下瀬俊夫委員長 造成で斜面を切っているが、全体的に開放的な感じになるのか。

井上環境課長 現場を見に行ったが、水道の建物もよく見える開放的な感じになっている。

吉永美子委員 火葬場の名称を公募するのか。

井上環境課長 公募を予定している。

下瀬俊夫委員長 エントランスホールの装飾だが、なぜ細いガラスの装飾にするのか。

木村環境課課長補佐 設計会社のコンセプトで、過剰なデザインを避けたいというのがあった。夕陽をイメージしたプランAの幅は5センチであり、もう少し幅を大きくするよう要求する。また、目線の当たる部分に金色の装飾を入れたいという話もある。良いアイデアがあれば環境課からも提案していきたい。

井上環境課長 基本計画では駐車場の台数は55台であったが、現在は利用者の駐車場が42台、マイクロバス4台、職員用駐車場5台の計51台となっているので、4台は少なくなっている。

吉永美子委員 山陽小野田市はガラスに力を入れている。ガラス造形作家の協力を求めることはできないか。

佐久間市民生活部長 現時点で建屋の中に組み込むことは難しいと思う。作品を置くスペースを設けることは可能だと思う。

吉永美子委員 建物ができてからでは遅い。どう組み込むのかを含め、作家と話をしてもらいたい。協力は求めるべきである。

佐久間市民生活部長 設計事務所にも可能かどうか確認したい。

吉永美子委員 建物の一部に入れるのが難しいのであれば、何ができるのかも協議してもらいたい。

佐久間市民生活部長 検討するが、大規模なものは難しいので、期待には添えないかもしれない。

矢田松夫副委員長 待合室の使用料は取るのか。

木村環境課課長補佐 市外の方の火葬料を平成28年4月から値上げした。今後、市内の方の火葬料を改正するにしても、個室の使用料を取ることは現時点では考えていない。待合室を予約するということになるのと臨機応変な対応が難しくなる。

矢田松夫副委員長 今日の資料は10月15日頃に出たものではないか。もう少し早く委員会には出してもらいたい。

佐久間市民生活部長 時機を見て説明させていただく。今出している図面で微

調整を行い、今後これで進めていくことになる。エントランスのデザインについては若干変わる可能性はあるが、基本的にこのような形で進めていくので御理解をいただきたい。

下瀬俊夫委員長 県道に右折レーンを設けることはどうなったか。

佐久間市民生活部長 警察、宇部土木建築事務所と協議したが、交差点でもなく施設への進入路なので、右折レーンを設けるに至らないという結果だった。注意を促す看板の設置と見通しが悪くならないように雑草管理をすることの2点の指摘を受けた。

下瀬俊夫委員長 エントランスの装飾についてはシンプルすぎるのではないか。検討の余地はあるのか。

木村環境課課長補佐 大きな変更は難しい。幅、長さ、色合い、ちょっとした装飾の追加等は提案したい。

下瀬俊夫委員長 インターネットで予約できるようになるのか。

木村環境課課長補佐 検討したが、利用者が葬祭業者に限られているので過大投資になると判断し、現在のところ、導入は考えていない。ただし、ネット予約を構築すれば、対応が可能なシステムである。

下瀬俊夫委員長 家族葬が増えているので、個人で火葬場の予約を行う時代になってきた。今後、そういったことも踏まえ対応できるようにしてもらいたいと思う。

14 陳情要望について（記録については議案分に記載）

15 閉会中の継続調査事項について（記録については議案分に記載）

午後 5 時 1 5 分 散会

平成 2 8 年 1 2 月 8 日

民生福祉常任委員会委員長 下 瀬 俊 夫